

加西市は、環境負荷の少ないグリーンエネルギーの普及促進を図るため、住宅用太陽光発電システム・蓄電池の設置費用、電気自動車・プラグインハイブリッド自動車の購入費用を補助します。

太陽光発電システムと蓄電池を合わせた平成 29 年度補助金予算額は、200 万円です。検討されている場合は、お早めに申請してください。詳しくは市ホームページをご覧ください。

住宅用太陽光発電システムの設置費用を補助

住宅用太陽光発電システムの設置後、電力会社から「電力受給契約のご案内」が届いてから申請してください。

■対象／電力受給契約の受給開始日（売電が開始された日）が、平成 25 年 4 月 1 日以降となる 10kw 未満の住宅用太陽光発電システム

※以前に補助を受けられた方は申請できません。

■補助金額

	施工業者	補助金単価 (kw あたり)	上限額
既存住宅	市内	25,000 円	100,000 円
	市外	15,000 円	60,000 円
新築・建売住宅	市内	15,000 円	60,000 円
	市外	10,000 円	40,000 円

■受付期間／5 月 1 日（月）から補助金終了まで

平成 29 年度から住宅用蓄電池の設置費用を補助

住宅用蓄電池の設置完了後に申請してください。蓄電池は、災害時の非常電力を確保することもできます。

■補助金額

蓄電容量 1kwh 当たり 20,000 円（上限 200,000 円）

■対象／4 月 1 日以降に設置が完了した、蓄電容量が 1kwh 以上 10kwh 以下のリチウムイオン電池で、再生エネルギーや夜間電力を利用して蓄電を行い、その電気を住宅の居住部分で活用できる蓄電池

■受付期間／5 月 1 日（月）から補助金終了まで

電気自動車・プラグインハイブリッド自動車の購入費用を補助（5 月から）

■対象者（1～4 のいずれかに該当する方）

1. 市民
2. 市内に事務所または事業所がある法人
3. 市内に事務所または事業所がある市外の個人事業主
4. 1～3 に電気自動車・プラグインハイブリッド自動車を貸与するリース事業者

■補助金額／1 台 10 万円 ※平成 29 年度の補助金予算額 100 万円に達すれば終了します。

■対象となる電気自動車・プラグインハイブリッド自動車

- ・国内メーカーの車両で、市内に車庫証明があり、平成 27 年 4 月 1 日以降に初年度登録された車両
- ・一般社団法人次世代自動車振興センターから「確定通知書」を受けている車両
- ・総電力量が 10.5kwh 以上のプラグインハイブリッド自動車

■受付期間／平成 30 年 3 月 30 日（金）まで

電気自動車を導入

加西市は地球温暖化の防止を図り、地球に優しい環境都市加西の実現に向けて 4 月 17 日、日産自動車株式会社の「電気自動車活用事例創発事業」により、電気自動車「e-NV200」を導入しました（3 年間無償貸与）。車両は、走る蓄電池として多目的に活用できる電気自動車で、航続距離 190km。今後は、各種イベントや環境学習で活用し、電気自動車の普及啓発を行います。



日産プリンス兵庫販売株式会社の岡本五郎取締役副社長からレプリカキーを受け取った西村和平市長（右）

加西市こども狂言塾第4期生 10人全員合格

狂言師の野村萬斎さんが監修した新作狂言『根日女（ねひめ）』を演じる「加西市こども狂言塾」の第 4 期生オーディションを 4 月 3 日、アスティアかさいで行いました。参加した小学 3～6 年生 10 人が、「この辺りの者でござる」と発声したり、すり足で歩いたりしました。審査は、笛方藤田流宗家の藤田六郎兵衛さんらが行い、全員合格。6 月から月 2 回程度のお稽古に励みます。



藤田さんからすり足を教わる参加者

兵庫県より4月4日、市街化調整区域の市内6地区で、工場等の敷地拡張、用途変更などが可能になる「工場等誘導区域」、集落内で小規模な事業所の建築が可能になる「地域活力再生等区域 地縁者小規模事業所型」、鵜野飛行場跡地の整備促進が可能になる「地域資源活用区域」の特別指定区域の指定を受けました。

また、工場等誘導区域においては、兵庫県が定めた制度を柔軟に活用するために、加西市独自の基準「既存事業所活用型（拡張タイプ）」「既存事業所活用型（用途変更タイプ）」「地域産業振興型」を定め、指定しています。

今後も、市街化調整区域の規制緩和に取り組んでいきます。

指定を受けた区域の種類と地区

指定を受けた区域の種類		小学校区・地区
工場等誘導区域	既存事業所活用型（拡張タイプ）	富合／山枝町 泉／中富町 日吉／山田町、西野々町
	既存事業所活用型（用途変更タイプ）	泉／笹倉町
	地域産業振興型	日吉／西野々町
地域活力再生等区域 地縁者小規模事業所型		泉／笹倉町
地域資源活用区域 鵜野飛行場南部歴史資源活用型		下里／東笠原町

※詳しくは市ホームページをご覧ください。都市計画課までお問い合わせください。

集中豪雨による浸水害や土砂災害の早期対応を

問合先／危機管理課 ☎42-8751 FAX43-1800
bosai@city.kasai.lg.jp

雨量計が設置されていない善防中学校区（同校の屋上）と泉中学校区（同校の屋上）にPOTEKA（ポテカ）を設置し、4月1日から運用を開始しました。

ポテカは雨量だけでなく、温度、湿度、気圧、風向風速、日射、感雨を測定することができる小型気象観測システムで、近年頻発している局地的な集中豪雨による浸水害や土砂災害に対応するため、ピンポイントの気象情報をリアルタイムで観測することが可能です。

今後は、防災対策や避難情報発令の判断などに活用します。また、市民の方も専用ホームページ「POTEKA NET」(<http://www.potekanet.com/>)から気象情報をご覧ください。



善防中学校の屋上に設置したポテカ

北条市街地消防防災サイレンを設置

アスティアかさいの屋上に消防防災サイレンを設置し、4月1日から運用を開始しました。

北条市街地で、木造住宅が密集し、狭あい道路も多く、火災が発生すれば、大規模な被害が想定されます。

そのため、北条12区に関連する火災が発生したと判断した場合、北はりま消防本部がサイレンを吹き鳴らし、住民に知らせます。



音達距離1.8kmの消防防災サイレン

農事組合法人西笠原営農組合が、(公社)兵庫みどり公社理事長賞を受賞

農事組合法人西笠原営農組合が3月24日、兵庫県農業共済会館で行われた平成28年度優良集落営農組織表彰で「公益社団法人兵庫緑公社理事長賞」を受賞しました。この賞は、地域農業の担い手として農業経営の改善に積極的に取り組み、農業の振興や活性化などに意欲と能力のある優良な集落営農組織を賞するものです。

同組合は、平成25年11月に法人となり、約25haの農地を耕作しています。水稻と麦が中心ですが、他に青大豆も生産し、加工して味噌も販売。小学生の農業体験やトライやるウィークの受け入れなど、地域への貢献もされています。

また、市民農園の経営もし、利用者を募集しています。詳しくは、同組合（佐伯）☎090-1891-1088まで。



表彰を受ける佐伯秀秋組合長（右）